

理 由 書

年 月 日

法 務 大 臣 殿

監理団体名 (企業単独型技能実習の場合は実習実施者名)

印

住 所

TEL

【記載例】

当団体で受入れ中の技能実習生 (氏名： 国籍：) については、技能実習を修了し、本年●月●日に帰国予定であったところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、別途資料を提出したとおり、同国の居住地への帰宅が大変困難な状況にあります。

また、申請人は、下記1の従前の受入れ機関の経営悪化等により、当該機関での活動継続が困難となり、退職することになったものです。

つきましては、同人が帰国できる環境が整うまでの間、日本に滞在し、当該期間中の滞在費支弁等のために就労できるよう、当団体が実習監理を行っている下記2の受入れ機関において、下記1の受入れ機関において技能実習で従事した業務 (●●職種・●●作業) と同種の業務に、従前と同等額以上の報酬で従事することを確認します。

帰国の際の旅費については、技能実習生が帰国する場合と同様に当団体が負担するほか、帰国できる環境が整うまでの期間は、技能実習生と同様に必要な助言・指導等を当団体が責任を持って行います。

1 (従前の受入れ機関) A株式会社 (●●県●●市●●町1-1)

2 (今次の受入れ機関) B株式会社 (●●県●●市●●町2-2)